

2026年6月10日

各 位

2026年度「脱炭素経営セミナー」の開催について

株式会社山形銀行（頭取 佐藤英司）は、カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みの一環として、山形県および株式会社荘内銀行、株式会社きらやか銀行と連携し、企業の脱炭素経営の推進による県内企業の脱炭素化と競争力強化に向けたセミナーを下記のとおり開催いたします。

当行は、今後もサステナビリティ方針に則り活力ある地域社会づくりに貢献してまいります。

記

1. 日 時 2026年7月9日（木）13：00～16：00
2. 会 場 山形県高度技術研究開発センター「多目的ホール」（山形市松栄二丁目2番1号）
3. 開催概要
 - （1）講演「大手企業の動向から考える！ 中小企業が取り組むべき脱炭素施策」
講師：e-dash 株式会社 パートナーサクセス部 部長 甲斐 綾乃 氏
 - （2）講演「令和7年度やまがたGX経営塾の報告と令和8年度プログラムのご紹介」
講師：e-dash 株式会社 パートナーサクセス部 柴田 匠 氏
 - （3）事例紹介「やまがたGX経営塾参加企業による脱炭素経営の実践事例共有」
 - ・株式会社山本製作所 製造部生産技術グループ 柏倉 健志 氏
 - ・浜理 PFST 株式会社 米沢工場 施設部 部長 御供 英文 氏
 - （4）山形県の脱炭素経営に向けた支援事業について
 - （5）「省エネお助け隊」について
4. 主 催 山形県
5. 共 催 株式会社山形銀行、株式会社荘内銀行、株式会社きらやか銀行
6. そ の 他 2026年度は本セミナーの他に、脱炭素経営に向けた経営塾の開講を予定しております。

以 上

本件に関するお問い合わせ先
経営企画部 広報室
TEL 023-623-1221（代表）
【受付時間】9：00～17：00

令和8年度 第1回

県内企業の取り組み事例から学ぶ！

脱炭素経営セミナー

2026

7.9木

13:00~16:00
(開場：12:30~)

企業経営者・担当者、どなたでもご参加いただけます！

- 脱炭素の取り組みは企業に対する負担ではなく、**エネルギーコスト削減や競争力の強化、取引先や売上の拡大につながる可能性**を秘めています
- 県内中小企業の間でも取り組みが加速**する「脱炭素経営」について本セミナーでは実践事例をもとにご紹介します

第1部

大手企業の動向から考える！
中小企業が取り組むべき脱炭素施策

e-dash株式会社 パートナーサクセス部 部長

甲斐 綾乃

第2部

令和7年度やまがたGX経営塾の報告
と令和8年度プログラムのご紹介

e-dash株式会社 パートナーサクセス部

柴田 匠

第3部

やまがたGX経営塾参加企業による脱炭素経営の実践事例共有

注目！

講演者

山本製作所

株式会社山本製作所
製造部生産技術グループ

柏倉 健志 氏

講演者

浜理PFST株式会社

浜理PFST株式会社米沢工場
施設部 部長

御供 英文 氏

山形県天童市に本社をおき、穀物乾燥機や各種選別機、精米加工機器を製造する専門メーカー。令和7年度やまがたGX経営塾の参加をきっかけに脱炭素経営の取り組みを開始。現在は当社排出量算定システム「e-dash」を利用し、Scope 1・2排出量の算定を行うなど、継続的に脱炭素経営の取り組みを実践しており、本セミナーでは取り組みの経緯やポイントについてお伝えする。

山形県米沢市に工場を持ち、医薬バルク（医薬品原体・API）、医薬品中間体、食品添加物、化粧品原料および機能性有機材料などの研究開発および製造を行う専門メーカー。海外企業との取引も多く、CDP回答も実施するなど、脱炭素に関する積極的な取り組みを進める。現在の取り組み状況に加え、Scope 3算定等、今後の課題についてもご紹介いただく。

第4部

山形県の脱炭素経営に向けた
支援事業について

山形県

第5部

「省エネお助け隊」について

特定非営利活動法人 環境ネットやまがた

お申し込みはこちらから

参加申込期日

7月7日火 定員：100名程度

※定員に達し次第、締め切らせていただく場合がございます



開催場所

山形県高度技術研究開発センター「多目的ホール」
(山形市松栄二丁目2番1号)

持ち物

お名刺2枚・筆記用具



— 企業経営の未来を考える —

やまがたGX 経営塾



「GX（グリーン・トランスフォーメーション）」とは、化石燃料からクリーンエネルギーへの転換を契機に、経済社会システム全体を変革し、エネルギーの安定供給・経済成長・排出削減の同時実現を目指す取り組みです。中小企業がGXに取り組むことで自社の経費削減・競争力強化につながることはご存じでしょうか？

山形県では昨年度から**県内中小企業（製造業）を対象**とした全4回の脱炭素経営塾を開講しております。令和8年度も引き続き、脱炭素経営に必要な基礎知識の習得から、CO₂排出量の削減計画の策定まで伴走支援します。（昨年度の詳細は裏面に記載）

どなたでも参加できるカリキュラムとなっておりますので、ぜひご参加ください。

お申し込みはこちらから



参加申込期日

8月14日 **金**

定員：10社程度

※定員に達し次第、締め切らせていただく場合がございます

会場

山形県庁内会議室（予定）
（山形県山形市松波2丁目8番1号）

第1回

カーボンニュートラルを体験する

2026年
8月21日(金)
14:00~

カードゲーム「2050カーボンニュートラル」を利用したワークショップを通して、カーボンニュートラル達成の難しさや、企業に求められる行動を体験します。

第2回

企業が脱炭素経営に取り組む必要性を知る

2026年
9月18日(金)
14:00~

企業が求められる脱炭素活動の事例を踏まえ、CO₂排出量可視化の必要性や算定後の削減施策に関する概要について学習します。

第3回

脱炭素に向けた算定後のアクションを知る

2026年
10月23日(金)
14:00~

開示・削減の事例に加え、現在注目されているCFP（カーボンフットプリント）など今後求められる取り組みについて解説します。また、令和7年度やまがたGX経営塾参加企業からの事例紹介・交流会も予定しています。

第4回

削減目標に応じた削減計画の策定

2026年
11月27日(金)
14:00~

可視化した自社CO₂排出量データと学習した削減策を組み合わせ、自社にあった削減計画を検討します。

スケジュールおよび内容は変更になる場合がございます。

研修の対象：山形県内に本社や事務所を置く中小企業（製造業）の担当者および経営者等

持ち物：（必須）お名刺2枚・筆記用具

（任意）ノートパソコン / 第2回・第4回で利用する場合がございます

注意事項

- 各回の詳細は別途お申し込み後にご案内いたします
- 原則としてすべてのカリキュラムにご参加いただきますので事前に日程のご調整をお願いいたします



— 企業経営の未来を考える —

やまがたGX 経営塾



令和7年度 やまがたGX経営塾の取り組み紹介

令和7年度から取り組みを開始した「やまがたGX経営塾」。
昨年度は11社の企業がプログラムを受講し
脱炭素経営に向けた第一歩を踏み出しました。

第1回

カードゲームを利用したワークショップで脱炭素経営の基本を学びました。気候変動対策における緩和と適応や、企業として脱炭素に取り組むべき背景をお伝えするとともに、Scope 1・2などの排出量算定の基本となる知識についても学習しました。

第2回

CO₂排出量の算定と削減のメリットについて解説するとともに、e-dashを利用した算定方法を説明。また、講師2名をお招きし、サステナビリティ経営のポイントや端材を利用したアップサイクル事業など、製造業特有の取り組みについても紹介しました。

第3回

CO₂排出量算定後の具体的な削減施策を共有。省エネルギー診断や再エネ導入、非化石証書やクレジット等について解説するとともに、可視化後の開示アクションとして、中小企業版SBT認定やエコアクション21等の諸制度についてもお伝えしました。

第4回

「e-dash」を活用して算定したScope 1・2排出量や、自社のエネルギー使用量・設備の稼働状況をもとに、短期・中期・長期の削減目標を立て、具体的な削減計画を立案しました。

令和7年度やまがたGX経営塾 参加企業一覧

山形電子株式会社（山形市）、株式会社ユニカ技研（上山市）、株式会社伸和コーティング（村山市）
株式会社山本製作所（東根市）、斎藤マシン工業株式会社（天童市）、アルス株式会社（米沢市）
株式会社相田商会（米沢市）、ハイメカ株式会社（米沢市）、浜理PFST株式会社（米沢市）
サンリット工業株式会社（長井市）、株式会社小森マシナリー（高島町）

※順不同

e-dashとは？

CO₂排出量の可視化から削減まで、企業の脱炭素を一気通貫で実現するサービスです。
本事業では、「e-dash」を無償提供し、排出量の可視化と削減計画の策定を支援します。



CO₂排出量の 可視化

データ入力から
算出・分析まで
e-dashが自動化します

CO₂排出量の 目標設定

削減目標を登録して
目標対比の
実績管理も一元化

CO₂排出量の 削減

コスト削減から
排出量削減まで
具体的な方法をご提案

操作が簡単！

エネルギーの請求書データをアップロードするだけ！
手入力の手間もなく、誰でも簡単に見える化が可能！

かんたん！請求書のアップロード
デモ動画はこちら

